

過去に製造販売した医薬品、医療機器などにアスベスト



厚生労働省は平成 18 年 7 月 13 日、医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器のアスベスト含有について調査した結果、過去に 70 社が製造販売した計 119 製品にアスベストが含まれていたが、現在はその全てについて製造販売が中止されていると発表しました。

この調査は、関連する 19 の業界団体や都道府県を通じ、全製造販売業者を対象に調査を実施したもので、18 年 2 月 8 日に公表された 69 社 116 製品に、新たに 3 製品加えられました。

今回追加された 3 製品は、いずれも富士写真フイルム(株)製。

- ・コンピューテッドラジオグラフ 3 機種
- ・医療用自動現像装置 8 機種
- ・画像診断用イメージャ 6 機種

また、前回までに公表されていたアスベスト含有 116 製品のうち、コニカミノルタテクノプロダクト(株)製の医療用自動現像装置で 7 機種、画像診断用イメージャで 1 機種の製品が追加されました。

なお 119 製品のうち、通常の使用でアスベストが放出する可能性があるのは、前回までに報告された 2 社の歯科用包帯材 2 製品と 2 社の歯科用鋳造器 2 製品のみ。残りの医薬品 4 社 4 製品(歯髄失活剤及び滋養強壮薬)、医薬部外品 1 社 1 製品(殺虫剤)、医療機器 63 社 110 製品は通常使用時にアスベストが放出する可能性がないと報告されています。

当社では、大気・建材等のアスベスト分析を行っております。お気軽にお問い合わせください。

資料 2006 年 7 月 13 日付 EIC ネット

環境分析箇所 重田郁美